家計簿だより

2022年
6月号

発行日：2022年5月 25日
発　行：エフコープ組合員活動部
〒811-2495　糟屋郡篠栗町中央1-8-1
TEL：092-947-9003　Fax：092-947-9192
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ：　chikako-yoshitake@fcoop.or.jp

18歳から“大人”です。

成年年齢が2022年４月より、20歳から18歳に引き下げられました。

約140年ぶりに成年の定義が見直されたことで、私たちの暮らしにどのような影響がもたらされるのでしょうか。生年月日によって新成人となる日が、次のようになります。

生年月日	新成人となる日	成年年齢
2002年４月１日以前生まれ	20歳の誕生日	20歳
2002年４月２日から2003年４月１日生まれ	2022年４月１日	19歳
2003年４月２日から2004年４月１日生まれ	2022年４月１日	18歳
2004年４月２日以降生まれ	18歳の誕生日	18歳

民法が定めている成年年齢は、「一人で契約をすることができる年齢」という意味と、「父母の親権に服さなくなる年齢」という意味があります。成年に達すると、親の同意を得なくても、自分の意思でさまざまな契約ができるようになるということですが、「未成年者取消権」（未成年者が親の同意を得ずに契約した場合、その契約を取り消すことができる）は行使できなくなります。

18歳（成年）になったらできること	20歳にならないとできないこと（これまでと変わらないこと）
●親の同意がなくても契約できる。 ・携帯電話の契約　・ローンを組む　・クレジットカードを作る ・一人暮らしの部屋を借りる　など ●10年有効のパスポートを取得する。 ●公認会計士や司法書士、医師免許、薬剤師免許などの国家資格を取る。 ●結婚　女性の結婚年齢が16歳から18歳に引上げられ男女とも18歳に。 ●性同一性障害の人が性別の取扱いの変更審判を受けられる。	●飲酒 ●喫煙 ●競馬、競輪、オートレース、競艇の投票権（馬券など）を買う ●養子を迎える ●大型・中型自動車免許の取得

契約にはさまざまなルールがあり、知識がないまま安易に契約を交わすとトラブルに巻き込まれる可能性があります。お子さんやお孫さんに新成人や未成年者がいらしたら、トラブルに巻き込まれないようにアドバイスができるといいですね。家計簿活動では、今年度の消費者被害防止講演会のテーマを「18歳成人」の予定で現在準備を進めています（9月開催予定）。ぜひご参加ください。（内容は「政府広報オンライン」からの転載）

家計簿サークル員・家計レコによる提出は随時募集しています。上記へお問い合わせください。
「月の集計」は、毎月10日（家計レコは20日）を目安に提出してください。

“2022年 3月度 集計結果”

3月は入学祝いをお渡しになった方が交際費を多く支出されています。また 40 歳代は新1年生の制服代など教育費のまとまった出費がみられます。水光熱費は前年比119．2%（2月度は前年比 120%）で値上がりを実感します。ほかにもウクライナ募金で交際費を支出されている方がみられました。

【収入】

	実数	20･30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	平均
給　与(夫)	45	—	389,436	481,852	303,253	434,748	381,309
給　与(妻)	19	—	239,432	273,084	175,780	439,500	244,318
賞　与(夫)	1	—	0	0	236,500	0	236,500
賞　与(妻)	3	—	0	147,500	100,000	0	131,667
年　金(夫)	5	—	0	190,000	116,412	272,391	192,934
年　金(妻)	1	—	0	0	39,000	161,579	100,290
自家営業(夫)	4	—	0	250,000	395,545	57,000	298,727
自家営業(妻)	1	—	0	0	0	112,125	112,125
家賃･地代収入	3	—	0	60,000	50,050	188,413	99,488
ﾊﾟｰﾄ･ｱﾙﾊﾞｲﾄ収入(夫)	8	—	0	0	101,751	73,724	84,234
ﾊﾟｰﾄ･ｱﾙﾊﾞｲﾄ収入(妻)	25	—	79,374	90,955	87,196	34,642	77,055
同居家族の収入	22	—	40,000	135,000	42,425	50,667	49,894
その他の収入	63	—	19,000	40,384	85,656	146,360	100,958
収入合計	109	—	568,172	567,069	296,357	202,666	324,218

【非消費支出】

	実数	20･30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	平均	前年比
所得税(夫)	60	—	8,573	16,818	-4,634	22,823	6,626	-115.4%
所得税(妻)	34	—	3,050	18,881	-5,486	-23,604	-5,443	652.8%
住民税(夫)	40	—	17,480	32,171	16,750	28,700	23,135	85.5%
住民税(妻)	23	—	8,950	7,331	9,273	25,467	10,766	139.9%
固定資産税	18	—	25,000	21,417	18,850	9,333	18,461	85.4%
その他の税金	3	—	0	0	2,720	4,800	3,413	179.5%
税金合計	80	—	32,832	54,272	9,028	11,728	21,600	100.1%
健康保険(夫)	76	—	16,990	21,125	31,969	23,660	26,502	89.2%
健康保険(妻)	31	—	12,839	15,137	15,949	11,515	13,891	112.0%
介護保険(夫)	44	—	5,359	4,602	6,734	8,800	5,945	92.9%
介護保険(妻)	18	—	2,296	2,603	3,228	8,409	4,119	114.3%
厚生年金(夫)	42	—	37,210	44,914	29,561	8,052	35,625	98.1%
厚生年金(妻)	15	—	21,960	27,968	21,551	0	24,199	101.9%
雇用保険(夫)	36	—	1,072	1,390	875	337	1,030	92.1%
雇用保険(妻)	20	—	391	766	558	0	616	98.7%
国民年金(夫)	2	—	0	16,575	0	0	16,575	100.2%
国民年金(妻)	1	—	0	0	34,020	0	34,020	#DIV/0!
国民年金(学生)	1	—	0	33,220	0	0	33,220	#DIV/0!
社会保険料合計	92	—	77,536	77,845	52,475	24,535	52,060	92.5%
損害保険	59	—	43,762	10,799	14,943	9,920	12,904	100.9%
生命保険	103	—	27,138	29,171	17,744	18,325	20,392	68.8%
個人年金	17	—	57,713	19,617	21,546	0	27,248	95.7%
私的保険料合計	115	—	70,582	37,411	25,883	22,653	28,912	76.0%
その他の非消費支出	69	—	1,420	8,970	8,648	7,082	7,663	105.9%
非消費支出合計	122	—	181,896	171,392	79,571	42,723	85,010	83.6%

	20・30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	平均	前年比
米・麦	―	3,430	3,598	1,966	2,455	2,419	107.0%
パン・めん・その他	―	5,177	4,186	4,715	3,949	4,327	111.0%
＜主　食＞	―	8,607	7,784	6,681	6,404	6,745	109.6%
魚介類	―	4,446	2,910	5,125	5,304	4,934	95.6%
肉類	―	11,313	7,023	6,563	6,038	6,539	97.7%
乳卵類	―	6,458	3,213	3,486	4,098	3,831	98.3%
豆・豆製品	―	2,893	1,316	1,545	1,919	1,733	97.4%
野菜	―	8,786	5,632	5,617	5,609	5,722	105.9%
乾物・海草	―	1,374	1,387	1,225	1,337	1,298	108.4%
加工食品	―	11,860	7,572	5,607	8,821	7,483	133.8%
調味料	―	4,001	2,503	2,684	2,647	2,692	93.0%
＜副食調味料＞	―	51,132	31,556	31,852	35,774	34,231	105.0%
菓子	―	6,566	5,296	4,376	3,558	4,186	91.2%
果物	―	866	2,874	2,418	3,118	2,732	106.7%
酒・飲料	―	8,028	5,328	4,660	4,278	4,677	89.2%
＜嗜好品＞	―	15,460	13,499	11,455	10,955	11,595	93.6%
給食	―	0	0	111	0	45	25.7%
外食	―	4,173	5,428	5,718	3,294	4,544	86.9%
＜外食関係＞	―	4,173	5,428	5,829	3,294	4,589	84.9%
食費合計	―	77,519	69,947	57,152	55,294	59,361	96.7%
家賃・地代	―	37,441	25,977	11,302	3,264	11,701	90.4%
その他の住居費	―	41,880	19,106	12,404	19,290	17,482	96.7%
＜住居費＞	―	79,322	45,083	23,707	22,554	29,183	94.1%
住宅ローン返済実平均	―	68,760	64,964	61,014	0	64,596	66.3%
ローン返済件数	―	3	5	4	0	12	80.0%
＜水光熱費＞	―	26,802	23,971	22,008	23,686	23,181	119.2%
＜被服費＞	―	27,372	11,086	4,272	9,261	8,332	77.7%
＜保健医療費＞	―	9,176	10,667	13,481	8,309	10,861	127.2%
＜理容衛生費＞	―	32,943	8,317	8,963	10,086	10,447	102.8%
＜交際費＞	―	6,859	13,535	21,990	46,272	29,303	134.5%
＜交通費＞	―	1,162	3,979	3,613	2,124	2,979	57.0%
＜通信費＞	―	15,386	22,199	12,229	9,845	12,980	82.3%
＜教育費＞	―	262,355	14,770	17,260	130	22,068	80.0%
教育費実平均	―	262,355	70,156	224,381	2,086	162,267	114.0%
＜教養娯楽費＞	―	16,023	14,779	20,194	20,409	19,253	117.5%
＜職業・主婦費＞	―	28,242	24,508	28,901	12,849	22,038	90.1%
＜自動車関係＞	―	16,231	229,891	14,820	25,886	51,828	74.5%
＜その他＞	―	84,779	187	4,315	23,955	15,091	89.5%
食費以外の合計	―	606,651	422,970	195,751	215,368	257,545	92.8%
消費支出合計	―	684,169	492,917	252,904	270,662	316,906	93.5%

収入 － 支出	#VALUE!	−297,893	−97,240	−36,117	−110,718	−77,697	104.4%

＊提出者　125 名　平均年齢　67．6 歳

＊【収入】と【非消費支出】は、**実平均額**（例：給与の場合、給与収入がある世帯の収入金額を、給与収入を記載された世帯数のみで割ったもの）の数値です。

＊【消費支出】は**総平均額**（提出があった世帯数で割ったもの）の数値です。

＊【教育費】は総平均額と実平均額を掲載しています。

＊食費の内訳は、内訳を記入している人のみ（3 月は 89 人）の平均額です。

＊「#DIV/0!」は前年が 0 円の時に表示されます。

３月の集計と一緒によせられた“声”

今年度最後の集計が終わりました。昨年の集計ありがとうございます。見てから思い出しました、旦那がケガで数ヶ月入院していたことを。労災や傷病手当のおかげで何とか乗り切れました。コロナ禍がまだ続くかはわかりませんが、子ども達は自由に遊べず不自由と思います。毎日少しでも楽しく…と食べ物などで工夫しています。来年度も平和と健康を願うばかりです。
（41 歳、夫婦、乳幼児、小学生各１人）

ウクライナは元々ロシアと同じ国だったはずですよね。国の代表者と言うべき人の言動一つで戦争となり、小さな子どもや何の関係もない人々が亡くなり、本当にかわいそうでなりません。もし日本が同じようなことになったらと思うと、どうすることもできません。日本では選挙前に年金生活者に 5,000 円をばらまくようなことを言ったり、取り消したりと、一体何をしているのでしょう。物価は上がるし年金は下がる。お買い得の品しか買えない、外食もしない、節約生活しないといけませんね。あ～この先どうなるのでしょう。
（92 歳、妻、その他の子ども１人）

結婚して初めて収入０（ゼロ）の月を迎えました。孫達の入学祝いの他に、日々の食費、医療費など必ず出ていくお金があるので、こういう月のために、ある程度の貯蓄の大切さをしみじみと感じました。いろんな物が値上げになっているのに年金を減らすという最悪のニュース。今までにあまりにもお金をばらまいたせいでは…と思いますが？　（75 歳、夫婦）

春休み中に手術をしました。人間ドックで見つけてもらい、昨年末に決まっていたのですが、こちらの都合でこの時期にお願いをし、予定通り、腹腔鏡手術で 1 週間程度の入院で済みました。ありがたいです。病院の先生や看護師さん達はみんな優しくて、とても居心地の良い空間でした。傷だけでなく心も癒された気分です。感謝の気持ちでいっぱいです。健康のありがたさを実感し、また、健康診断の大切さを強く思いました。さあ、また頑張ろう！！　（58 歳、夫婦）

図書カードありがとうございました。NHK の語学テキスト代に使います。毎年夏、内水氾濫のため実家に避難しているので、台所と風呂を改修と思い、昨年の 12 月に業者に依頼しました。しかしまだできていません。半導体不足により温水器が入荷しないからです。5 月までにできないと 6 月は不安です。地球温暖化で雨の降り方が異常ですから。
（77 歳、夫婦）

2021 年家計簿集計ありがとうございました。集計していなかったので本当に助かります（年を取ると億劫になっていましたので）。早速今年の予定に役立たせていただきました。感謝です。光熱費と交際費が突出していますね。交際費はホワイトデー（亡き夫への孫達へのお返し）、グループ仲間のしのぶ会への出費、家族への送迎の御礼他、また身内の葬儀があったりでかさみました。4 月からの物価の値上がりこたえますネ。お米（農家より）以外は all 生協なので頼りにしています。また、図書カードありがとうございました。　（89 歳、妻）

図書カードありがとうございました。今年も 12 ヶ月分きちんと提出できるように頑張っていきたいと思います。主人も 9 月に 60 歳となります。自営業なので定年はありませんが、少しずつ生活を見直す時期に来ているのだと思います。エフコープの注文も「好きなもの、欲しいもの」から「本当に必要なもの」を心掛けたいと思います。　（59 歳、夫婦）

義母が我が家へ来るようになりました。今は時々、数日間ですが、そのうち同居予定です。彼女はずっと IH で調理していました。うちはまだガス調理です。認知症の気が強くなってきた彼女に合わせて、IH にリフォームしなければならないようです。15 年以上使っているガステーブル、ガスか IH か 2 択を迫られていたので、思い切りどころでしょうね。土鍋を使えなくなるのが痛いところです…。
（66 歳、夫婦）

こんにちは！　次女の出産 3 ヶ月余り、長女家族 3 人滞在 17 日、体もお金も大変きつかったです。でも実家を頼りに、そして来てくれてありがとう。私達がそうだったように、もう子どもに手が掛からなくなれば、実家には来ることも少なくなる…。今やれることをやって、手伝ってあげたいです。
（66 歳、夫婦、その他 2 人）

家計簿だより 4 月号に載っていた 2021 年の年代別支出ランキングを見て――現役世代の支出 1 位が社会保険料！！　手取り額しか見ていないと気づかないのかもしれませんね。「医療」や「年金」としていずれ国民に還ってくるかもしれないけれど、食費より多いなんて“日本”という国が信じられません。
（68 歳、夫婦）

とうとう子どもが受験を迎える年になりました。初めてのことで、親も志望校選びなどいろいろ考えてしまいますが、本人が納得できる学校に入れるように、いろいろ協力していくしかないのですね。塾に入れる余裕はないので（お金、時間共に…）、自分でしっかり勉強してもらえるように、親も環境づくりに徹します。子どもが勉強するなら…と、自分も韓国語の勉強をスタートしました。韓国マンガにはまっているので、いつの日か原文のまま読めるように頑張ります。いくつになっても勉強するって楽しいですね。不安定な情勢の世の中ですが、一日でも早く平和な世界に戻ってほしいです。
（47 歳、夫婦、小学生 2 人、中学生、その他各 1 人）

子ども用紙おむつは理容衛生費ですが、大人用のリハビリパンツも理容衛生費でいいのでしょうか？　入院中は一括して医療費に入れていましたが、入院中の分も理容衛生費に分けるべきでしょうか？　（94 歳、夫婦）

大人用紙おむつは「保険医療費」にご記入ください。
「保険医療費」【コード：427】
医療機関への支払い、医薬品、保険医療用品はここに記入します。アトピー治療のための入浴剤など、治療のためのものも「保険医療費」です。

パソコンの保証として、PC サービスの会員となり会費を毎月引かれていますが、どの項目に入れたら良いですか？
（65 歳、夫婦）

パソコンに関するサービスを受けるもの、と考え「教養娯楽費」にご記入ください。
「教養娯楽費」【コード：436】
文化、レジャー、趣味のための費用です。文具（子どもは教育費）、書籍、教養娯楽品、教養娯楽サービスなどです。

毎月の提出ページの裏側、「●今月の特別な支出うちわけ」って何だろうと思いました。（80 歳、夫婦、その他 1 人）
⇒パソコン、保険料年払いなどが当てはまります。家電購入や慶弔見舞など突発的・高額な支出があった際にご記入ください。

長文でいただくお便りもすべて家計簿活動委員会、事務局で読ませていただいています。紙面の都合ですべてのお便りは掲載できませんが、今後もぜひ楽しかったことなど、お知らせいただけるとうれしいです。　吉武